

巻頭インタビュー

I am because you are
第32回東北大学国際祭り

カーパティアー アニコさん
ドイツ連邦共和国出身
東北大学留学生協会(TUFSA)代表



今年の国際祭りの実行委員とボランティア

—5月14日の国際祭り、お疲れ様でした。あいにくの雨でしたが、何か影響はありましたか?今年は、仙台国際ハーフマラソン大会と開催日が重なりましたが…

雨で、当日の運営は大変でした。でも、足元が悪い中、3,000人もの方々が来て下さってうれしかったです。マラソン大会については、会場に隣接する道路が午前中、一時通行止めになる影響などが心配されましたが、特に問題はありませんでした。来場者は、マラソンが行われている午前中は確かに少なめでしたが、午後になって徐々に増えました。午前中、マラソンの応援をして、午後は国際祭りを楽しんだ方々もいらっしまったのではないかと思います。

—TUFSA代表として、国際祭りの指揮を執るのは難しくありませんでしたか?

大変でしたが、取り組み甲斐のある面白い活動でした。TUFSAのメンバーは、世界各国から来て様々な分野の研究をしている学生です。考え方は多様で、いつもいろいろな意見が出ますから、まとめるのに苦労しました。生活習慣の違いも大きく、例えば集合時間ひとつをとってみても、定刻前にきっちり来る学生がいれば、そうではない学生もいるわけです。考え方や物事への対応の多様性を受容するという経験を通じて、私は我慢強くなりました。

—次に、アニコさんご自身のことについて教えてください。

家族は、父、母、5歳上の兄、2歳下の妹、私の5人です。父はハンガリー出身ですが、私が生まれる前にドイツに移住していたので、私はドイツで生まれ育ちました。ですので、私はハンガリー語を話すことはできません。ハンガリーとのつながりは「カーパティアー」という名字くらいです。故郷は、ドイツ北部のロストックという都市です。バルト海に面しているので、子どもの頃は夏になると家族でよく海に行きました。大学で生物学を専攻した母の影響もあったのか、高校生くらいの頃から、生物など自然科学系の勉強が好きでした。

—東北大学に留学した経緯は、どのようなものだったのでしょうか?

教育制度が日本と違うので、説明が難しいのですが、日本の高校のような教育機関を卒業してから3年間、地元の医療機器メーカーで品質管理や研究に関する仕事をしました。そこで関心を持った生化学をドイツ国内の大学で学んだ後、修士課程ではその分野の中でも様々な研究科目があるオランダのマーストリヒト大学に留学しました。マースト

リヒト大学は東北大学と協定を結んでいて、1年留学すると両方の大学の修士号を取得できる制度があったので、東北大学に1年留学することにしました。そして、修士号取得後に東北大学に籍を移し、現在は大学院医学系研究科に所属して神経科学に関する研究をしています。

—4年目となる東北大学での留学生活は、いかがですか?

生活も含めて順調です。食事に関して言うと、ドイツは海産物を用いた料理の種類がそれほど多くはないので、和食の中でも刺身、寿司などの海鮮料理が特に好きです。言葉については、難しい面があります。私は日本に来る前にデンマークとオランダに1年ずつ留学しており、ドイツ語のほか、英語、デンマーク語、オランダ語も理解できますが、日本語はヨーロッパの言葉と全く違うため、習得は容易ではありません。ただ、東北大学は留学生の受け入れに熱心で、実際、日本語をあまり話せないことは問題ではありません。研究室の仲間は皆、英語が話せますし、言葉に関することで私が困った時にはいつも助けてくれますから。

—海外経験が豊富でいらっしゃいますが、そこから得たものは何かありますか?

自立心と自信を得ました。学部時代のデンマークへの交換留学が初めての留学でしたが、当時、私は英語があまり上手でなく、結構苦労しました。しかし、努力で私の英語力は大きく向上し、私は自分の力で困難を乗り越えたことで、語学力に加えて自立心と自信も得ました。母国への理解も深まったように思います。うまく言えませんが、ドイツ人は物事のあるべき姿に向かって進めようとする傾向が強いのではないかと感じるようになりました。数回の留学を経て、私はアプローチの方法や道筋はいろいろであると考えようになりました。

—個人として、またTUFSA代表としての抱負を教えてください。

個人としては、博士後期課程が2年以上残っているので、その後のことはまだ決めていません。TUFSA代表としては、日本人の学生に文化交流や留学など海外のことに目を向けてもらえるような活動に力を入れたいです。日本人の学生は目標に向かって最短距離で行こうとする傾向が強く、例えば就職を目標とすると、留学は時間の浪費になると考えるところがあります。でも、私は自分の経験からも、留学の意義は大きいと考えています。だから、私はもっと多くの日本人の学生に視野を広げ、異文化への扉を開けてほしいと願っています。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2017年8月～9月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2017	8	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S
	8							5								
		6	7	8	9	10	11	12		3	4	5	6	7	8	9
		13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15	16
		20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22	23
		27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29	30

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催 会場 時間 申し込み 参加費 電話 FAX Eメール HP ホームページ

8月 AUGUST

8～9月 第2・第4木曜

英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座

- 松島善意通訳者の会
- 松島町勤労青少年ホーム
- 【英会話入門・初級】13:30～15:30
【ボランティアガイド養成講座】
15:30～17:00
- 要(電話・メール)
- 無料、教材は自己負担
- FAX 022-354-3678(大浦)
- k-ohura@kfx.biglobe.ne.jp
- http://www.geocities.jp/matsushim
agw

8～9月 第3水曜

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
- 13:00～16:00
- 電話受付または予約なしでもOK
- 無料
- 022-261-6768
- FAX 022-261-0610

6・7・8・11・13・15・16・18・27日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 10:00～15:00
- 不要、現地へ直接
- 入場料700円は自己負担
- FAX 022-354-3678(大浦)
- k-ohura@kfx.biglobe.ne.jp
- http://www.geocities.jp/matsushim
agw

8・13・18・27日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 円通院
- 10:00～15:00
- 不要 現地へ直接
- 入場料300円は自己負担
- FAX 022-354-3678(大浦)
- k-ohura@kfx.biglobe.ne.jp
- http://www.geocities.jp/matsushim
agw

5日

多文化家族のための子どもの学校生活について学ぶ会 2017 大崎

- 日本語を母語としない子どもと親のための
進路ガイダンス実行委員会
共催:宮城県国際化協会(MIA)など
- 大崎市図書館 研修室3
- 13:00～15:00(受付12:30～)

- 要(電話・FAX・メール)
- 無料
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- mail@mia-miyagi.jp
- http://shinro-miyagi.jimdo.com/

6日

CCE勉強会「アジアについて」

- 地球の子ども通信(CCE)
- 日立システムズホール仙台 会議室2
- 15:00～17:00
- 要(電話・FAX・メール)
- FAX 022-376-5382
- nra55237@nifty.com

9日

外国人の子どもサポートの会
2017年度 第1回公開研修会
MIA外国籍の子どもサポーター
スキルアップ研修会
「教科の日本語を学ぶ生徒のための英語教材
と使い方」

- 外国人の子どもサポートの会
- 宮城県国際化協会(MIA)
- 仙台国際センター 会議棟1階
交流コーナー 研修室
- 10:00～16:30(受付9:30～)
- 要(電話・FAX・メール) ※8月2日締切
- 500円
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- mail@mia-miyagi.jp
- http://kodomosupport.jimdo.com/

19日

ベトナム料理教室

- BETOAJI SENDAI
- トークネットホール仙台(仙台市民会館)
- 10:30～13:30
- 要(メール、定員40名)
- 1,000円(材料分)
- 090-6300-2551(ガン)
- sendai@betoaji.org
- https://sites.google.com/site/sendai
ibetoaji/

19日

「もっととニューージーランドを知らう」
ショートステイからロングステイ体験談記と
懇親パーティー

- 仙台ニューージーランド協会
- 宮城県知事公館
- 13:00～15:30(受付12:30～)
- 要(電話) ※8月4日締切
- 会員及び外国人4,500円
ビジター5,000円 中学生3,000円
小学生以下無料
- FAX 022-711-5266

9月 SEPTEMBER

3・10・15・18・24・30日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- ※8月の瑞巖寺ボランティアガイドと同じ

3・10・15・24日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- ※8月の円通院ボランティアガイドと同じ

17日

アフリカセミナー&アフリカ文化紹介「新たな
発展のための日本-アフリカのパートナーシップ」

- 宮城アフリカ協会 共催:JICA東北、みやぎ生協
- 仙台国際センター「桜」
- 10:00～16:30
- 要(電話またはHPから)
- 500円(アフリカン・ランチボックス代)
- 070-2196-4220(アズィードゥ)
- http://www.afam-org.com

18日

せんだい地球フェスタ2017

- せんだい地球フェスタ実行委員会
- 仙台国際センター 展示棟
- 10:00～16:00
- 不要
- 無料
- 022-268-6260
- FAX 022-268-6252
- senfesinfo@gmail.com
- http://senfes2017.jimdo.com

21日

忘れえぬザンビアーいとおしき人々

- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター 研修室
- 10:00～12:00
- 不要
- 1,000円
- FAX 022-362-7907

24日

ベトナム料理教室

- BETOAJI SENDAI
- ※8月19日と同じ

24日

CCE箏コンサート

- 地球の子ども通信(CCE)
- 日立システムズホール仙台 交流ホール
- 14:00～16:00
- 要(電話・FAX・メール)
- FAX 022-376-5382
- nra55237@nifty.com



今年度の《MIA外国人支援通訳サポーター総合研修会》が終了しました

宮城県に暮らす外国人の数が19,000人を超え、ますます通訳サポーターの重要性が高まる中、MIAでは去る5月24日、標記研修会を実施いたしました。当日は、新旧合わせ8言語42名の通訳サポーターのほか、仙台弁護士会国際委員会、仙台地方検察庁、宮城県警通訳センター、仙台市各区保健師の皆様など20名を超えるオブザーブ参加もあり、盛会のうちに終了しました。

例年になくオブザーブ参加が多かった理由として、仙台入国管理局首席審査官藤谷聡氏による基調講演と法務省入国管理局申請取次行政書士櫻井克俊氏を交えての意見交換会で、最新の出入国管理行政について学ぶことができたことが挙げられます。

通訳サポーターのみならずと行政の各機関が一堂に会して学ぶことは稀なことであり、官民が手を携え補完し合いながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指ざることが具現化できた研修会となりました。

また、最近の傾向としては、ベトナム、ネパール、インドネシアの各言語の需要が顕著となってきており、これらの言語で新規登録者が増えたことも心強いことです。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



～楽しく日本語サポート活動をするために～ MIA日本語サポーターステップアップ研修会

外国人に1対1で日本語学習サポートを行う「MIA日本語サポーター」のみなさんを対象に、日本語学習テキストの使い方や留意点を紹介し、より円滑な活動に役立てていただくために開催する研修会です。

■ 日 時：平成29年9月30日(土) 13:00～15:00

■ 場 所：宮城県国際化協会交流ラウンジ

- 講 師：鈴木英子さん(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 対 象：MIA日本語サポーター登録者
- 参加料：無料
- 内 容：日本語学習者について知る、学習支援の方法など
- 申込み・問合せ：MIAまで電話またはメール



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階
TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp
JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

JICA 研修員受入事業の紹介 https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary.html

研修員受入事業は、日本国内を舞台とする技術協力の形態です。日本社会が蓄積してきた「知」の中には、日本に来ることではじめて分かるというものが少なくありません。例えば、「日本型」と呼ばれる日本独特の組織の仕組みや制度などです。「百聞は一見にしかず」と言われるように、実際に日本の社会や組織の中に身を置き、苦勞を話し合い、背景にある社会の状態や価値などと一緒に理解してもらうことで、条件が大きく異なる開発途上国の人々にも本当に大切な事が伝わります。

こうした内容の技術協力は、日本人を開発途上国に派遣するよりも、開発途上国の関係者に日本に来てもらい、自ら気づいてもらうことの方がより効果的な場合が少なくありません。このため、日本の国際協力の柱の一つとして、毎年約1万人の研修員を受け入れています。研修員の大半は、政府や公共団体の関係者ですが、近年はNGO関係者も増えています。

一方、受け入れる日本側においては、国、自治体、大学、公益法人、民間企業、NGOなど、多方面の協力を得て、先端技術から村おこしのノウハウまで、あらゆるテーマに対応できる体制を整えています。こうした規模と「品揃え」の豊富さの点で、JICAの研修員受入事業は世界的にも類例がなく、日本の国際協力の大きな特徴の一つとなっています。

研修員受入事業は、途上国の個別の具体的な要請に基づき実施する「国別研修」、日本側から途上国に提案し、要請を得て実施する「課題別研修」、そして次世代を担う若手リーダーの育成に焦点を絞った「青年研修」の三本柱で構成されています。

写真は、宮城県で昨年度実施された研修の様子です。今年度も宮城県では5コースの国別研修、4コースの課題別研修、3コースの青

年研修を実施します。詳細はウェブサイトをご覧ください。

■ 研修員受入事業

<https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/kenshu/index.html>

■ 青年研修

<https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/seinen/index.html>



2016年度 国別研修
「イラク・国内避難民流出など緊急時における教育の在り方」コース
せんだい3.11メモリアル交流館を視察している様子。



2016年度 課題別研修
「災害リスク管理に配慮したアセットマネジメントシステムを活用した下水道資産管理」コース
(受入先: JOCA東北支部、仙台市が講師として協力) 南蒲生浄化センターを視察している様子。



2016年度 青年研修
「フィリピン・災害リスクエリアにおける地域活性化」コース
(受入先: (特非)いしのまきNPOセンター) 東松島の災害備蓄倉庫を視察している様子。

MIA情報便



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

平成29年度 みやぎのふるさとふれあい事業のお知らせ～宮城の豊かな文化・自然を体験してみませんか？～

宮城県国際化協会では、毎年秋に県内の市町村国際交流協会と共催で“みやぎのふるさとふれあい”事業を実施しています。この事業は、県内で暮らす外国人住民の方なら誰でも申し込むことができ、地域の人々と共に伝統的なお祭りや行事に参加したり、ホームステイを体験したりするものです。宮城に暮らしていても、地域の人々と交流したり、日本文化を体験したりする機会が少ない外国人の皆さん、この事業で“みやぎのふるさと”を体験してみませんか。

今年は4つの市・町で、以下の日程で行う予定です。お問い合わせは、直接、実施市町村までお願いします。※募集人数の制限、締切日がありますので、早めにお問い合わせ下さい。

申込用紙と詳細情報は、当協会のHPでダウンロードできます。



祭りに参加



新幹線車両基地見学

実施市町村	実施日	内容	申込先
利府町 利府町国際交流協会	9/23(土) ～24(日)	梨狩り、新幹線車両基地見学、ひとめぼれスタジアム宮城見学、ホームステイなど	政策課地域協働班 Tel 022-767-2113 Fax 022-767-2100 kyodo@rifu-cho.com
石巻市 石巻市国際交流協会	9/30(土) ～10/1(日)	復興まちづくり情報交流館、石ノ森萬画館、日本庭園「森芳春荘」見学、ホームステイ	Fax 0225-23-3641 Hajime.Konno@city.ishinomaki.lg.jp
村田町 村田町国際交流協会	10/8(日)	布袋祭りの山車曳き、町内施設見学など	企画財政課 Tel 0224-83-2112 Fax 0224-83-5740 mura-kik@town.murata.miyagi.jp
亘理町 国際交流協会わたり	12/2(土)	いちご・りんご狩り、はらご飯調理・試食、町内史跡巡り・被災地視察など	国際交流協会わたり(担当:遠藤) Fax 0223-34-6396 Chujun600@gmail.com

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』 発行：明石書店

外国人の子ども(「外国につながる子ども」を含む)の現状や取り巻く課題が網羅的に取り上げられたもので、学校での教育、支援団体の取組、国籍や在留資格の問題など、さまざまなトピックについて73人の専門家がコンパクトに解説しています。

それらに目を通していると、外国人の子どもに関する課題の多様さにたじろぎそうになってしまいますが、併せて掲載されている、「元子ども」であった当事者のコラムで彼らの経験や思いに触れると、受け入れる側の大人(社会)の役割やその責任の大きさに改めて気付かされます。



MIA法人賛助会員ご紹介コーナー

株式会社深松組(本社・仙台市)



代表取締役社長の深松氏

株式会社深松組は今年、創業92年を迎えました。本業の建設業のほか、不動産賃貸事業、再生可能エネルギー発電事業など様々な分野で事業を展開しています。社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に「本当に必要とされる企業」を目指しています。

2011年の東日本大震災後は、国や宮城県、仙台市に協力し、現地調査や復旧作業をいち早く開始し、行方不明者の捜索、がれきの撤去、損壊家屋の解体などに尽力しました。陣頭指揮を執った代表取締役社長の深松努氏は、復興を応援して下さった全国の方々への「感謝」と「報恩」のため、行政関係者や業界団体、そして学生向けの講演を各地で精力的に行い、復旧作業に携わったことで得た教訓や災害への備えの必要性を伝えています。

また、深松氏は、建設関係の職人の高齢化が進む中、「将来的には、災害復興に外国人のマンパワーが不可欠となる」と考え、昨年10月にベトナム人技能実習生の受け入れを開始しました。さらに、ミャンマーでは現地在住の日本人向けの賃貸マンションの建設、管理を予定しており、同国でのビジネスの展開も視野に入れています。「アジアの国々の発展のお手伝いをして、日本が他国の助けを必要となった時に協力してもらえるような関係を築いておくことが重要」と熱く語る深松氏です。



FUKAMATSU

賛助会員募集 当協会はおかげさまで30周年を迎えました。

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただく個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員 / 1口 3,000円
団体会員 / 1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎ 協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

- ◎ 当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎ 個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎ 企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎ 本協会あて御連絡ください。
◎ 本協会の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.92

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/



再生紙を使用しています。